

# らんどせる

=港小のスローガン=

「元気」 みんな元気に

「本気」 なにごとも本気で

「勇気」 とともに勇気をもとう

港小学校 学校だより 令和3年4月30日

## ○「初めて」がたくさん／本気

4月6日に入学した1年生、毎日たくさんの「初めて」を経験しています。いろいろな教科の授業はもちろん、朝の会、帰りの会、係の仕事、雨の日の登校、などなど。そして、20日からは給食と掃除も始まりました。給食当番や上級生と一緒にやる掃除(港小学校の掃除は、縦割りで行っています)にも取り組んでいます。給食が始まると同時に、5時間授業も始まりました。19日に担任の先生が「明日から、給食を食べて、その後も授業があります。全部で5時間授業をやります。」と話すと、1年生は「やったあ!」とやる気満々でした。



## ○野菜名人のお話／本気

2年生は、生活科で夏野菜を育てます。今年度は、子どもたちがそれぞれ自分で選んだ野菜を育てます。野菜の苗も自分で準備します。夏野菜にはどんなものがあるか、苗を選ぶポイントは何か、育て方のコツなど、野菜名人の先生に来ていただき、お話を聞きました。このお話を参考にして、自分で苗を準備し、連休明けには苗植えをする予定です。



## ○学級訓が決まってきました／本気・勇気

新学期、新しいクラスが始まり、たくさんのクラスで「どんな学級にしたいか」という話し合いが行われました。子どもたちから出された思いや願い、意見を一つにまとめ、目標とする姿を表した言葉が「学級訓」です。

もうすでに教室に掲示されているクラスも多いですが、一年間、みんなでこの学級訓を意識して、すてきなクラスにしていってほしいです。

## ○たくさんのきらきら／本気

### \*ラビットボーイズ優勝

4月18日、令和3年度会長杯争奪大会が開催され、ラビットボーイズの5年生のチームが見事優勝を収めました。賞状、優勝カップ、優勝盾が学校に届きました。おめでとうございます。賞状と優勝カップ、優勝盾は校長室前のガラスケースに展示してありますので、ご覧ください。



## ○異動された先生方からのメッセージ

前回に続き、異動された先生方からメッセージをお伝えします。

**【裏面をご覧ください】**

**【加藤いつき先生（養護教諭）】西尾市立福地北部小へ**

みなさん、4年半、ありがとうございました。港小の子に4年半、先生が元気をもらって楽しく過ごさせていただきました。

昨年度から新型コロナウイルス感染症が広がり、みなさんにとって「健康」という言葉が身近になったかと思います。

みなさんにとって「健康」って何でしょうか。毎日元気でいられること、毎日笑って過ごせること、など人によって答えは様々だと思います。一度、時間のある時に考えてみてください。それはきっと、これから健康に生活するための大切な手がかりになるはずです。

**【柏倉美優紀先生】吉浜小学校へ**

港小学校では、6年間お世話になりました。でも実は、赴任して1年ほどで産休育休を約5年もいただいたので、ほとんどみなさんと過ごすことができないままの異動で、とても寂しく思っています。

お休みをいただいている間、何度か学校に伺いましたが、その度に笑顔であいさつをしてくれて、うれしい気持ちになったことを覚えています。笑顔は人と人がつながるための「はじめの一步」です。今は、マスクをつけての生活で、笑顔を他の人には見せづらくなっていますが、笑顔でいる人の周りには必ずたくさんの人が集まってきます。これからも笑顔を心がけて、楽しい毎日を過ごしてください。

**【神谷智子先生】高浜小学校へ**

港小学校では、10年間お世話になりました。

私は担任ではなく、日本語教室、また図工や書写の先生として授業をしてきました。そこで出会う子どもたちは、いつも元気で明るくて、私は子どもたちからたくさんのパワーをもらい、楽しく過ごすことができました。

港っ子のみなさんは、いつもパワー全開。30分放課が終わって、汗びっしょりになって教室に戻ってくるみなさんの姿が今でも目に浮かんできます。これからも、たくましく、素直な心でのびのびと過ごしてください。ありがとうございました。

**【藤田加代子先生】ご退職**

港小学校では、碧海公園で虫取りをしたり、明石公園でどんぐり拾いをしたり、みどりの学校で鳳来寺山に登ったり、楽しい思い出がたくさんあります。時折、風にのって教室に入ってくる潮の香りも好きでした。

港っ子の明るく屈託のない笑顔に、私の方が元気をいただいていたように思えます。コロナ禍で大変な時ですが、心や体を鍛えて負けないように過ごしてください。

7年間、お世話になりました。